

はんさん

Vol.23
2007年7月

「はんさん」は「Hot And New South Akita NPO」の頭文字から名付けた造語。「県南のNPOを情報でつなぐ」という思いをこめました。

6月23日(土)、「ほろっとキッズ」主催の「秘密基地(かくれが)をつくって遊ぼう」での様子。横手・大森町坂部地区多目的センターで、ダンボールを活用して、自分たちの隠れ家を作る小学生たち。(詳しい団体紹介は「活動ウォッチング」をご覧ください。)



トピック

地産地消で地域の魅力発見! ~農村活性化の取り組み~

活動ウォッチング

ほろっとキッズ

クローズアップ/助成金情報/イベント情報/キャッチボール・ボード/コラム 県南弁ゼミナール

トピック

地産地消で地域の魅力発見！

〜農村活性化の取り組み〜

近年、「地産地消」(地場生産―地場消費)の動きが活発になってきました。県内の農産物直売所の数は年々増え続け(H18年度末で189箇所)、人々の「食」に関する関心が高まってきています。「地産地消」は生産者と消費者を結びつけるものであり、直売所以外に学校給食、食育、観光などの場でも取り組まれています。そこで今月のトピックでは、「地産地消」を通じて人々が、地域が、農村が元気になっていくことに取り組んでいる事例を紹介します。

〔「地産地消」にJICAの支援は、「あきた食の国ネット」<http://www2.e-komachi.jp/chisan/index.html>をご覧ください。〕

秋田市

地産地消を進める会

代表 谷口吉光さん

地産地消を進める会は、秋田県を中心に、「地元で取れるいいものを地元で食べよう」をキャッチフレーズに活動を開始し、今年で11年になります。地産地消の食生活を基本として、生産・流通・消費の仕組みを考え、実現していきたいと思っただけでなく、食の安全、地産地消給食といったテーマの勉強会や先進地の視察などを行ってきました。最近では、県と協働で開催している「あきた産デーフェア」、各地の料理



▲2006年4月に開催された「あきた産デーフェア」。

産地消でおいしく味わう会」などに取り組むようになりました。今後は活動自体をボラ

大仙市

自在屋

川井 達弘さん

「自在屋」は、50年前の田舎暮らしが体験できる古民家です。自給自足と助け合いの精神が宿る暮らしに触れたり体験することで、現在の暮らしを見直し、改善していくことを目的としています。1993年、都会からUターンし、農業を営みながら妻と2人で1998年「田舎暮らし体験塾」を開講しました。体験メニューは「川遊び」「田植え・稲刈り」「薪割り」「昔のくらし紙芝居」「山菜取り」「だまこ餅づくり」などで、旬の食材を囲炉裏と竈で焚いて行う郷土料理づくりは大評判です。地元にはそ



▶自在屋のご主人、川井達弘さん。屋号の「自在屋」は奥さんが囲炉裏の「自在鉤」からとって命名。

名人のお母さんから学ぶ「地産地消の料理教室」、地酒の魅力をPRする「秋田の酒を地

ンティアに頼るだけでなく、事業化して自立したNPOとして発展させていきたいです。

仙北市

グリーン・ツーリズム西木研究会

会長 藤井 けい子さん

グリーン・ツーリズム西木研究会は、農業体験の場として、都会の中学生を受け入れてきた農家民宿や受け入れ農家の人たちで平成10年に設立した会です。グリーン・ツーリズムの推進を目的に、農村体験モニターツアーや講演会など各種イベントを開催してきました。

昨秋には、秋田内陸縦貫鉄道に特設されたお座敷列車に郷土料理を停車駅ごとに出し、紅葉を楽しみながら、ブナ林の散策や草木染め体験ができる2泊3日の旅を民間3団体で企画しました。私たちが



▶会長の藤井けい子さんは農家民宿「泰山堂」のオーナー。敷地内では50種類位の野菜、果樹、山菜などを生産している。

あたりまえと思っている風景や作物を県外の方々に喜ばれ、改めて地域の素晴らしさに気づかされました。これからは、食育の場を作る勉強会などを開催し、食の大切さを次世代に伝えていきたいです。

それぞれの分野の名人がいて、体験活動のサポートをしてくれます。これからは、遊休農地を有効活用し、自然と家畜と

家族が一体となった50年前の暮らしができる「ミニふるさと村」をつくっていきたいです。

大仙市

女性農業士大曲会

会長 佐藤 三子さん

女性農業士大曲会は、「秋田県女性農業士」に認定された大仙市大曲地区に在住している会員13名で、平成13年に設立しました。活動としては、農業を地域に理解してもらうために、地域の小中学生に農業体験を通じて「食と農のかかわり」「いのちの慈しみ」について自ら学ぶ場を提供しています。「農作業・手づくり体験メニュー」を作成し、水稲、野菜、花き、動物とのふれあい、果樹、加工品づくりなどを体験してもらいます。農業は人間が生きていくための総合的な学びであり、今後も体験メニュー



▲赤く実ったりんごの収穫を手伝う子どもたち。

を活用してもらえるために、積極的に学校関係、公共施設などにも宣伝していきたいです。



〈次号トピックのテーマ〉

平和を求める祈りの伝承

〈地域へ、未来を担う子どもたちへ〉

活動ウォッチング

県南地域で活動している団体を紹介します。活動に興味を持たれた方、参加したい方は、各団体に直接お問い合わせください。

横手市

ほろっとキッズ

代表 中野 達生さん(話し手:事務局の桜田裕之さん)
事務局電話:(0187)63-3631

ほろっとキッズは、2002年に秋田県が主催した「おやし変身講座」受講生有志により、任意団体として活動を始めました。子どもの体験活動の場を創り出すことにより、子どもたちが自然に親しんで、地元の良さを知ってもらうことがねらいです。具体的には、2003年秋に、雄物川カヌーツーリングを行い、2004年以降は、年に4〜5回、子どもたちのために自然の中での体験活動プログラムを企画・実施しています。今年度は、隠れ家づくり、キャンプ、カヌー教室、登山を予定しました。財源としては、子どもゆめ基金による助成や行政からの補助金、参加費の徴収で賄っています。参加している子どもたちが遊び方を独自に考え、創意工夫している姿におもしろさを感じます。ほろっとキッズの活動を通して、親子や子供どうしが触れ合ったり、スタッフも含めて多くの人との出会いが魅力です。最近のプログラム内容は少し画一的になってきているので、新たな企画を考えたり、気軽に参加できる内容や時間配分にして、これからも子供のための体験活動の場づくりを継続していきます。



▲6月23日(土)「秘密基地(かくれが)をつくって遊ぼう」の開会で、お話をするメンバーと参加者の子どもたち。

クローズアップ

フェアトレード・コーヒー豆を焙煎・販売!

ホームレスや若者支援のNPOが取り組む

●問い合わせ・注文
FAX:(03)3266-5748
メール:komorebi_coffee@yahoo.co.jp

NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい(事務局・東京都)は、2007年1月から、「こもればコーヒー」の自家焙煎・販売を始めました。交流の場「サロン・ド・カフェ こもれば」に集う仲間たちの「コーヒーを焙煎できないかな?」という思いが、「こもればコーヒー」の出発点でした。東ティモールのマウベジ村で栽培している無農薬・無添加の生豆を仕入れ、1年間焙煎作業の準備をしました。サロンを訪れる方々、スタッフ、支援者、コーヒー豆を作っている東ティモールの農家の皆さん、など、「こもればコーヒー」には、たくさんの人々の気持ちが含まれています。この「こもれば」を通して、人と人との心の触れ合いが取り戻されて、ホームレスや孤立した若者が地域で安らかに生活していくきっかけになればと思います。種類は、旨味・苦味・酸味のバランスがとれた「こもればブレンド」と、豊かな香りとほのかな酸味の「東ティモールストレート」の2つ。いずれも、200g 700円＋送料で、販売中。

*フェアトレード:地域特有の生産物を購入して、途上国の小規模生産者に正当な利益を還元する貿易

助成金情報

ともに20万円を上限。機材整備事業は、3年に1回。

備考:地域振興局によって実施しない場合があります。

応募締め切り:8月31日

問い合わせ:県庁県民文化政策課地域活動支援室または最寄りの地域振興局地域企画課

TEL:

県庁地域活動支援室 018-860-1520

仙北地域振興局 0187-63-5114

平鹿地域振興局 0182-32-0596

雄勝地域振興局 0183-73-8191

関連URL:

<http://www.pref.akita.lg.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1175486139252&SiteID=0>

障害者施設への支援

制度名:チャリティプレート助成金

対象団体:障害者が通う小規模作業所、アクティビティ・センター(自立生活センター、グループホーム)などで、特に緊急性が明確である団体。法人である必要はないが、社会福祉法人および財団法人は対象外。

助成内容:設備・備品・車両を助成。

応募締め切り:8月31日

問い合わせ:特定非営利活動法人 日本チャリティプレート協会 総務課
TEL:03-3381-4071

お寄せ下さい!

イベント情報掲載記事を募集しています。

○県南のボランティアイベント情報のコーナー

イベントタイトル/開催日時/会場/問い合わせ先/申込先・場所・電話・FAX/内容など100字程度でチラシがあれば一稿にお送り下さい。また、皆様のご意見、ご感想もいただければ幸いです。(次号は8月20日以降の情報となります。)

〒013-0048 横手市神明町1-9

南部市民活動サポートセンター

「はんさん」編集部

TEL.0182-33-7002

FAX.0182-33-7038

E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

と未来の環境基金 Panasonic NPO サポートファンド【環境分野】協働事務局 TEL:03-5298-6644 FAX:03-5298-6635

関連URL:

<http://panasonic.co.jp/cca/pnsf>

地域づくりや地域を元気にする活動

制度名:元気なふるさと秋田づくり活動支援事業【元気あきた資金】地域振興局受付分

対象団体:活動実績が4ヶ月以上ある非営利団体、または今後の継続的な活動が確実に見込まれる非営利団体。

対象事業:地域を元気にするイベント等の開催事業、地域のあり方を考える学習会等の開催事業。

助成金:【イベント等開催支援】事業費の1/2以内、100万円を上限。【講演会・学習会等開催支援】20万円。

備考:地域振興局によって実施しない場合があります。

応募締め切り:8月31日

問い合わせ:県庁県民文化政策課地域活動支援室または最寄りの地域振興局地域企画課

TEL:

県庁地域活動支援室 018-860-1520

仙北地域振興局 0187-63-5114

平鹿地域振興局 0182-32-0596

雄勝地域振興局 0183-73-8191

関連URL:

<http://www.pref.akita.lg.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1175490533208&SiteID=0>

県内ボランティア・市民活動団体への支援

制度名:ボランティア・市民活動支援助成金【ボランティア資金】

対象団体:活動実績が4ヶ月以上あり、かつ今後も継続的活動を続ける県内の非営利団体。

対象事業:県外の先進地の活動調査・研究、活動に必要な機材の購入等。

助成金:【調査・研究事業】【機材整備事業】

「子ども」に関わるNPO・NGOの基盤強化

制度名:Panasonic NPOサポートファンド【2007年度子ども分野】

対象団体:子どもの健やかな育ちを応援する民間非営利組織。法人格の有無や種類は問いません。

対象事業:NPO・NGOの基盤強化に資する事業。●「人材の育成」事務局スタッフやボランティア、専門家などの人材の確保や育成を図るための取り組み。

●「拠点の整備」居場所や活動場所など、拠点の確保や環境の整備を図るための取り組み。●「事業の評価」事業の客観的な評価や見直しなど、事業の課題と解決策を明らかにするための取り組み。
助成金:1件当たり150万円を上限。総額1,500万円。

応募締め切り:7月31日。

問い合わせ:特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド Panasonic NPOサポートファンド【子ども分野】協働事務局 TEL:03-3510-1221 FAX:03-3510-1222

関連URL:

<http://panasonic.co.jp/cca/pnsf>

「環境」に関わるNPOの基盤強化

制度名:Panasonic NPOサポートファンド【2007年度環境分野】

対象団体:環境問題に取り組むNPO(NPO法人・任意団体・財団法人・社団法人など)。法人格の有無は問いません。

対象事業:NPO組織の基盤強化に資する事業。●「人材の育成」環境分野の専門家の養成や、スタッフの能力向上を図る取り組み。●「組織の充実」広報力、資金調達力、情報管理能力などの組織マネジメント力強化を図るしくみづくり。●「活動の活性化」団体活動の発展拡大を図るための企画づくり、ツールの開発など。

助成金:1件当たり150万円を上限。総額1,500万円。

応募締め切り:7月31日。

問い合わせ:特定非営利活動法人 地球

7/28 みんなの森 夏休みおたのしみ会

読み聞かせの他、工作教室もあります。

日時：7月28日(土)10:30～

場所：湯沢市 湯沢図書館 主催：みんなの森

問合せ：湯沢図書館 TEL:0183-73-3040

7/28～29 市民事業・創出スクール

楽しく働く“起業”をするために1番大切なことを発見するスクールです。

日時：7月28日(土)～29日(日) 10:00～17:00

場所：秋田県南部男女共同参画センター

参加費：無料 既売：有り(要予約)

主催：横手市雇用創出協議会

共催：秋田県南部男女共同参画センター

問合せ：横手市雇用創出協議会 TEL&FAX:0182-45-3990

7/28～29 使用済み切手キャンペーン2007 国際協力切手まつり in 大曲

民族衣装を着たり、インド紅茶(チャイ)を飲んだり楽しいこといっぱいです。

日時：7月28日(土)10:30～17:00

7月29日(日)10:30～16:00

場所：大曲ルーテル同胞教会

主催：日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)

共催：大曲JOCS

問合せ：大曲ルーテル同胞教会 TEL:0187-62-1087

8/3 助成金申請支援セミナー

助成金を獲得するためのノウハウやテクニックを学びます。

日時：8月3日(金)13:00～17:00

場所：南部市民活動サポートセンター

講師：NPO法人 新潟NPO協会 金子 洋二氏

主催・問合せ：秋田県地域活動支援室

TEL:018-860-1519 FAX:018-860-3892

8/6 世界に届け平和のメッセージ2007

講演会・コンサート～「ヒロシマ」・「ナガサキ」の心を世界へ。「イラク」の子供たちに愛を～

日時：8月6日(月)14:00～16:00

場所：秋田拠点センター アルヴェ

内容：講演(被爆体験の全体像、イラクの子供たちの現状、長崎原爆アニメ「アンジュラスの鐘」)

・コンサート(バンド演奏、合唱、ハンドベル)

主催・問合せ：聖霊高校ハンドベル部(熊谷)

TEL:018-833-7311

イベント情報



7/21 障がい者生き生き事業 ～みんなが楽しく暮らすやさしい まちづくりを目指して～

日時：7月21日(土)9:00～15:00

場所：第1部 招待バレーボール大会

仙北市 雲然トレーニングセンター

9:00～11:30

・第2部 記念講演 テーマ「スポーツはプレゼント」

講師：佐藤伊知子氏(東北福祉大学准教授)

仙北市 角館榊細工伝承館 13:00～15:00

主催・問合せ：NPO法人 秋田ふくしハートネット

TEL:0187-54-2422

7/21～22 サマーキャンプ in 大柳沼自然公園

日時：7月21日(土)～22日(日) 1泊2日

場所：東成瀬村大柳沼自然公園

対象：小学生(3年生以上)と保護者

定員：25名(子どもだけの参加も可)

参加費：子ども 2000円、大人 2500円

(夕・朝食代、キャンプ場使用料、保険料含む)

主催・問合せ：ほろっとキッズ(高橋 大成)

TEL:0182-22-4511

7/22 NPO情報開示と発信力強化セミナー ～お金も人もついてくる組織とは～

情報開示して市民の信頼を得、支持される組織を目指して実践に役立つノウハウを学びます。

日時：7月22日(日)14:00～17:00

場所：秋田市 遊学舎 会議棟

定員：50名(一団体からの複数参加をお勧めします)

参加費：1,000円(1名)

講師：加藤哲夫氏(NPO法人 せんだい・みやぎNPOセンター代表理事)

主催・問合せ：NPO法人 あきたパートナーシップ

TEL:018-829-5805

7/27 夏休み人形劇 ～いたずらおばけゲンムン～

“おはなしママ”さんによる人形劇です。

日時：7月27日(金)11:00～

場所：湯沢市 湯沢図書館

主催：湯沢図書館・おはなしママさん

問合せ：湯沢図書館 TEL:0183-73-3040

募集情報



第3回「わがまち新聞」コンクール作品募集

対象:小・中・高校生。

テーマ:地元の名所や名物、人物、イベント、楽しい話題など。
住んでいるまちの素晴らしさをB4判以上の紙一枚の新聞
にして紹介。(手書き、パソコン製作いずれも可)

締め切り:9月7日(当日消印有効)

応募先:秋田市山王臨海町1-1

秋田魁新報社内 秋田県NIE推進協議会

「わがまち新聞」係

問合せ:同協議会事務局

TEL:018-888-1822

<http://www.pressnet.or.jp/nie/nie.htm>

青少年とチャレンジコンテスト

夏休みに何か思い出作りをしたい…。

親子や仲間の絆を体験活動を通じて深めたい…。

そんなことをお考えのあなた!この機会にコンテストに
参加してみませんか?

応募チーム:県内に在住している方(1チーム3人以上)でチ
ームを作り(2世代以上で編成)参加してください。

応募内容:参加チームには自然体験活動、スポーツ体験活動、
芸術文化体験活動などを計2回以上実施していただきます。
優秀な5チームを表彰します。

応募締め切り:9月28日(金)

主催・問合せ:秋田県県民文化政策課青少年育成班

TEL:018-860-1552 FAX:018-860-3891

E-mail:youth0mail2.pref.akita.jp

キャッチボール ボード

このコーナーは、読者の皆さんと編集部、もしくは読者の
皆さん同意が、「はんさん」紙面や普段の活動から感じて
いることを伝え合う場です。「キャッチボール・ボード」を
通じて伝えたいことを、是非、編集部までお寄せ下さい。

いつもお世話になっております。「はんさん」
毎号楽しみに拝見しております。

編集のご苦労がわかります。貴広報紙に
当法人の件で情報掲載して下さいようお願い
します。 秋田ふくしハートネット 久米

8/15~16 ゆかたでぶらっと夏まつり

ゆかたの着付けを手伝います。持ち込みも貸し出しも無
料です。横手の夏をぜひゆかたで楽しんでください。

日時:8月15日(水)~16日(木)

受付:16:00~19:00 返却:21:30まで

場所:横手市 かまくら館 4階

主催・問合せ:着付けボランティアの会 高橋

TEL:0182-32-2949

*7月25日(水)18:30~20:30 南部市民活動サポート
センターにてゆかた着付け講習会を開催します。

8/18 非核平和映画会

平和と命の尊さ、戦争の恐ろしさについて考えてみま
しょう。

日時:8月18日(土)9:30~11:35

場所:大曲市民会館ホール

入場料:無料(但しチケットが必要です)

内容:非核平和レポート発表による広島体験発表
映写会上映 作品「はだしのゲン・2」

主催・問合せ:大仙市役所総合政策課

TEL:0187-63-1111(内線 229)

9/1 介護サポート かがやきネットまつり!

心のバリアをなくして、皆が共生し、支えあう地域をつ
くために交流して楽しみましょう。

日時:9月1日(土)10:00~16:00

場所:平鹿生涯学習センター(浅舞公民館)

内容:福祉用具の展示、説明と体験、介護・福祉・健康相談、バ
ザー、ふれあい交流コーナー等

主催・問合せ:

NPO法人 県南介護サポート かがやきネット

TEL:0182-32-2388

お知らせ

若者の自立支援巡回個別相談

自立に困難を抱える若者及びその保護者に対して、身近
な場所での相談機関を提供します。

日時:9月5日(水)、12月5日(水)、3月5日(水)

9:00~17:00(事前予約が必要です)

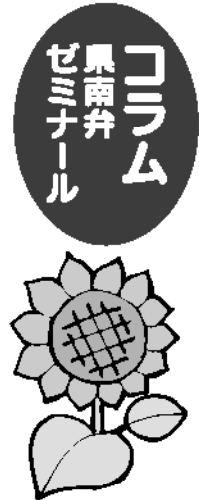
場所:大曲交流センター

主催・問合せ:秋田県県民文化政策課青少年育成班

TEL:018-860-1553 FAX:018-860-3891



②③ 「ムスウ」の巻



昭和26、27年ころ、セーラー服の女子高の修学旅行団が京都に向かっていった。羽越線の列車内での話し。ワイガヤガヤの中でトランプに興ずる一グループがあった。ある生徒が一段と高い声で「あら、ぎりっつと合わないわ」と言ったものだから、大爆笑となった。県外へ出るのだから「標準語」でしゃべらないと、という意識が働いていたことも確か。「ぎりっつ」は、下に打消しを伴って使われてきた副詞。さっぱり、きっぱりの意味。「ぎりっつと面みせねえな」「ぎりっつと電話もこねえもんだ」などと使う。「さっぱり顔見せないな」「全然電話もこないもんだ」の意味。「ぎりっつ」と同じような使い方、「ひとっつも、もどって来ないもんだ」を耳にしたことありませんか。

いつもながら下手な川柳で
 ○お年玉 ぎりっつとあたらず 年明けける
 ○トランプの セーラーの乙女 喜寿近し

浦沢市在住「金種シルバーゆざわ」編集委員 佐藤 伊世子

編集後記

取材をした方から、「たくさんの取材の中で、私共を取り上げて下さって感謝しております」といったお便りをいただきました。その言葉に励まされ、これからの活力源になりそうです。言葉ってそういうものなんですね。(AKKO)

今夏は猛暑になるのでしょうか。いくら暑くても、空調に頼りすぎず、クールビズや節水を心がけ、環境のことを心に留めて過ごしたいものです。微風の吹く木陰の元でお昼寝をする午後のひととき、心地良いだろうなあ。(こまつ)

春に種をまいたスイートピーが、花を咲かせました。芽が出ては喜び、葉が茂れば喜び、そして花が咲けば喜び…。花の成長を素直に喜ぶように、子どもの成長にも、そうありたいと思いました。(たけ)

秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>
 秋田県のボランティアや市民活動などに関する情報や話題をみなさんのもとへお届けしています。登録していただくと団体のプロフィールや目的、事業などを紹介できます。ご希望の方には各地区の情報誌をお送りします。情報誌のダウンロードもできます。

南部市民活動サポートセンター

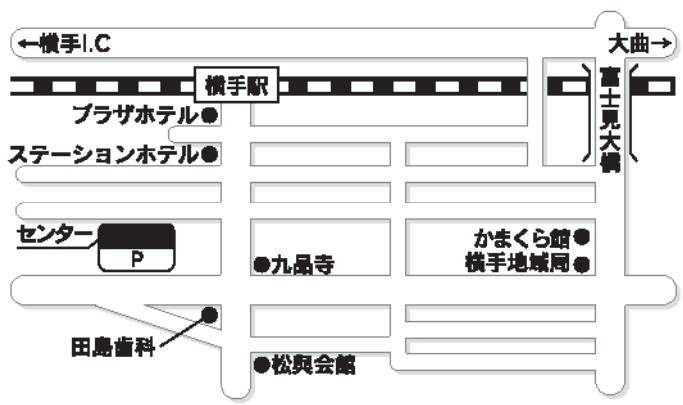
どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

相談時間 午前9時～午後6時(月～水・金曜日)
 午前9時～午後5時(土曜日)
 木曜日・年末年始(12/28～1/4)は休館
 TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038
 E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

ボランティア・NPOニュース 泉南版 はんさん7月号
 2007年7月15日発行

発行：秋田県生活環境文化部地域活動支援室
 〒010-8570 秋田市山王四丁目1-2
 TEL:018-860-1520
 編集：特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター
 〒013-0046 横手市神明町1-9
 (南部市民活動サポートセンター)
 TEL:0182-33-7002 FAX:0182-33-7038

この印刷物は1,600部作成し、印刷経費は1部あたり27円です。



当センターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県南NPOセンターが運営しております。